

都内森めぐりコース

ビギナークラス <半期> 第3回

日時 6月9日(木) 10:00-12:30 雨天決行
場所 浜離宮恩賜庭園（裏面地図参照）

地下鉄大江戸線「築地市場」(E18)「汐留」(E19)下車徒歩7分

ゆりかもめ「汐留」下車徒歩7分

JR・地下鉄銀座線・地下鉄浅草線「新橋」(G08・A10)下車徒歩12分

※開始時刻までに**大手門口**にご集合ください。



明治維新後、御所管となり、以後浜離宮と改め、迎賓・観覧の場として大いに利用され、皇室の御宴会がひらかれた。昭和二十年には東京都市開拓祭の一一般公開をしてしまった。

本園は、広大な池泉に通水を導き、湖の干満によって庭園に変化をもたらす潮入への回遊式築山泉水庭で、不倒にも関東大震災や太平洋戦争による建物や多くの樹木を焼失しつつ、まだ残る伝統的な構造や、江戸時代に発達した大名庭園を代表する貴重な文化財である。

○注意 入場料の払戻し及び
入场券の再発行は、
原則として行いません。

開園 昭和21年4月1日
面積 250,165m²
○休園日 年末年始
(12月29日から翌年1月1日)

浜離宮恩賜庭園

03-(3541-0200)

NPO法人やまぼうし自然学校
TEL 0268-74-2735 / FAX 0268-74-2795

Eメール info@yamaboushi.org

当日の緊急連絡先

TEL090-5338-5741 (東京支部:石川)

徳川将軍家の庭園

海水を引き入れた潮入の池と、二つの鴨場を伝え、江戸時代には、江戸城の「出城」としての機能を果たしていた徳川将軍家の庭園です。承応3(1654)年、徳川将軍家の鷹狩場に、四代将軍家綱の弟甲府宰相の松平綱重が、海を埋め立てて甲府浜屋敷と呼ばれる別邸を建てました。その後、綱重の子、綱豊(家宣)が六代将軍になったのを契機に、この屋敷は将軍家の別邸となり、「浜御殿」と呼ばれるようになりました。以来、歴代将軍によって幾度かの造園と改修工事が行われ、十一代将軍家斉の時代には現在の姿の庭園が完成しました。

明治維新のちは皇室の離宮となり、名称を「浜離宮」と変えました。関東大震災や戦災によって、御茶屋など数々の建造物や樹木が損傷し、往時の面影はなくなりましたが、昭和20(1945)年11月3日、東京都に下賜され、整備のうちに昭和21(1946)年4月から「浜離宮恩賜庭園」として公開されました。その後、昭和27(1952)年11月22日に「旧浜離宮庭園」(文化財指定名称)として国の特別名勝及び特別史跡に指定されました。

しお いり 潮入の池

海水を引き入れ、潮の干満によって池の趣を変える様式。都内にある江戸の庭園では唯一現存する海水の池です。東京湾の水位の干満に従って水門を開閉し、池の水の出入りを調整しています。池にはボラをはじめ、セイゴ、ハゼ、ウナギなどの海水魚が棲息しています。

水面に鳥も遊ぶ都心のオアシス

年中野鳥が生息し、都心のオアシスの風情があふれています。

新緑の口山

東京湾に面した水門近くの山。レンボーブリッジやお台場など臨海副都心を一望できます。

將軍お上がり場

将軍が船に乗降する所でした。昭和24(1949)年のキティ台風で階段の一部が崩れて海中に沈みました。

水上バス発着場

「浅草」「両国」「お台場海浜公園」、及び「葛西臨海公園」等への発着場です。隅田川に架かる個性豊かな橋を楽しむこともできます。



中島の御茶屋

宝永4(1707)年に造られて以来、将軍をはじめ奥方、公家たちがここで庭園の見飽きぬ眺望を堪能した休憩所。現在の建物は、昭和58(1983)年に再建したもの。ここでは抹茶、和菓子セット(有料)をお楽しみいただけます。



潮入の池と中島の御茶屋

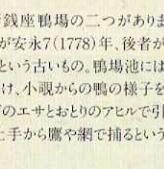
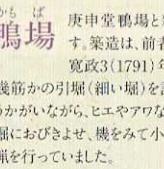
松の御茶屋・燕の御茶屋

二代将軍家斉の時代に建てられ、戦災で焼失しましたが、残された礎石などの遺構を調査し、平成22(2010)年に松の御茶屋が、平成27(2015)年に燕の御茶屋が復元されました。史料に忠実な建築により、往時をしのばせる景色がよみがえりました。



つた お伝い橋

潮入の池の岸から小の字島と中島を結ぶ延長118mもある縁檜造りの橋で、平成24(2012)年に改修しました。



三年の松

今から約300年前六代将軍家宣が、庭園を大改修したとき、その偉業をたたえて植えられたと言われている松。太い枝が低く張り出し、いまなお堂々たる姿を誇っています。



ボタン園とお花畠

ボタン園では春には色とりどりのボタン、お花畠では、春は「ナノハナ」、秋には「コスモス」が美しく咲き誇ります。



N

0m

100m



車いす通行可ルート



旗地市場



大手門



銀座



汐留・新橋